

議会だより

平成29年11月

No.96

あっさぶ

題字は、^{さとたくみ}鶏保育所らいおん組の佐藤匠さんです。



第6回大収穫感謝祭inあっさぶ 10月7日（土）



STOP！！ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメイクイン」を守ろう！～



統合中学校スクールバス等車庫新築工事費など 1億1168万7千円を補正 一般会計総額39億9364万円

第3回定例会が9月4日招集され、補正予算等28件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億1168万7千円を追加し、総額39億9364万円となりました。追加補正された主なものは次のとおりです。

- 減債基金積立金余剰金分 (3700万円)
- I・RU設備移設増設工事費 (317万1千円)
- 地域おこし協力隊コーディネート業務委託料 (273万7千円)
- 地域おこし企業人交流プログラム負担金 (204万1千円)
- 臨時福祉給付金事業費補助金過年度精算返還金 (417万円)
- 障害者医療費過年度精算返還金 (218万6千円)
- 障害者自立支援給付費過年度精算返還金 (565万1千円)
- 森林所有者情報管理用備品購入費 (181万5千円)
- 林業・木材産業構造改革事業費補助金 (900万円)

- 橋梁長寿命化補修工事費 (270万円)
- 統合中学校スクールバス等車庫新築工事実施設計委託料・新築工事費 (3966万3千円)

質疑応答(要旨のみ)

問 統合中学校スクールバス等車庫新築工事費について

答 送迎用バス4台と防災備品を格納するための施設で、既設テニスコート2面分を使用し、面積は60坪となっています。

国保会計

歳入歳出それぞれ179万5千円を追加し、総額7億1588万3千円となりました。補正内容は交付金等過年度精算返還金の増額です。

介護保険会計

歳入歳出それぞれ444万6千円を追加し、総額6億2442万円となりました。
補正内容は介護給付費負担金過年度精算返還金の増額です。

農業集落排水会計

歳入歳出それぞれ11万9千円を減額し、総額2億8246万9千円となりました。
補正内容は、総合給食センター排水新設工事費の減額です。

一般会計補正予算の内訳（歳出のみ）

区 分	補 正 額	補正後の額
総 務 費	42,854千円	926,424千円
民 生 費	13,207千円	806,019千円
農 林 水 産 業 費	12,011千円	477,858千円
土 木 費	2,893千円	269,208千円
教 育 費	40,722千円	366,232千円
合 計	111,687千円	3,993,640千円 (補正後の予算総額)

条 例

●厚沢部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

規 約

●北海道市町村職員退職手当組合格約の変更

●北海道市町村総合事務組合規約の変更

●北海道町村議会議員公務災害補償等組合格約の変更

人 事

教育長に鈴木聡氏
を選任



鈴木聡氏

●任期満了に伴う教育長の選任について審議し、無記名投票の結果、全会一致で鈴木聡氏（58歳）を選任することに同意しました。鈴木氏は厚沢部町出身で、昭和60年から高校教員生活をスタート。上ノ国高校・名寄高校の校長を歴任されました。

●任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について、木村秀喜さん（富里）を選任することに同意しました。

●任期満了に伴う教育委員会委員の選任について、竹中忍

さん（鵜町）を選任することに同意しました。

承 認

●平成29年度厚沢部町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認

議員派遣

●札幌厚沢部会総会
目的 意見交換、交流
場所 札幌市
期日 10月28～29日
派遣議員 鈴木祥司
佐々木宏
浜塚久好

報 告

●平成28年度健全化判断比率の報告
●平成28年度公営企業会計に係る資金不足比率の報告

まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために

次の定例会は12月13日（水）からです。

《一般質問開始予定：13日午前10時20分頃～》

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

一般質問

～聞いてみたい、こんなこと～

質問 1

公共施設の老朽化対策と財政運営について

山崎孝議員

施設更新は町総合計画を基本として補助事業等を活用

渋田町長



山崎議員

問

公共施設の老朽化による更新については大きな財政負担が伴いますが、今後の対策、財政運営について町長の所見を伺います。

答

当町の公共施設は136棟、そのうち築30年以上は62棟あり、今後の維持管理に多額の費用を要することから、各施設を計画的に改修・改築していきます。また、財政運営においては当町に有利な国の補助事業を活用しながら健全財政の堅持に努めてまいります。

質問 2

野生鳥獣被害対策について

問

ヒグマ・エゾシカの生息数が増加し、農作物への被害が拡大しています。鳥獣被害対策について町長の所見を伺います。

効果的な対策を実施、農業者も自衛策を

答

全道におけるエゾシカの生育頭数は減少傾向ですが、生息調査や目撃情報等によると、後志・渡島・檜山は増加傾向にあります。近隣町との

質問 3
河川敷の現況と整備について

問

本町の中心的河川の堤防は整備されていますが、河川敷では雑木、雑草が繁茂して堤防の機能を低下させていると考えられます。現況の河川敷、堤防管理について町長の所見を伺います。

答

河川敷や堤防管理について北海道と密接な連携を

町河川については河川維持費の予算の中で維持管理をしています。道河川は今年度、広域河川工事により、基栄橋から俄虫橋まで大きな断面掘削を、安野呂川は赤沼地区の築堤整備と一部の掘削を行います。それにより、河川敷の雑木や倒木も処理され、河川のスムーズな流れを確保します。今後もバトリールや住民からの連絡等をいただきながら適切な管理をし、道河川については関係機関との密接な連携をとって要望を重ねていきたいと考えています。



各会計決算を認定

平成28年度各会計の決算認定は、9月4日から6日に審査特別委員会に付託し審議され、一般会計は、賛成多数により、特別会計は全会一致により認定可決されました。委員会での主な質疑を要約してお知らせします。

一般会計

問 ふるさとづくり寄附金について

答 ふるさと納税で寄附された金額の83万円です。これからは外部のアイデアや力を借りながら少しでも増額になるよう努めていきます。

問 介護専門学校創設基礎調査業務委託料の内容について

答 3つの視点での調査を実施しました。①不足が見込まれる介護職の確保、②高校卒業後の進路や人口の流入、③専門学校創設による経済効果です。また、学校設立によって定員が満たされるかどうか

のシミュレーションもしています。

問 道の駅雇用創出基本構想策定業務委託料の内容について

答 道の駅が重点道の駅に認定されことを受け、さらに利活用していくための再整備について、構想策定を委託しました。道の駅整備については今後の経過を踏まえながら駐車場の拡大を重点に置いて検討していきます。

問 緊急通報装置の設置世帯数について

答 現在30世帯に設置されており、昨年の通報は2件でした。

問 ドクターヘリの運行状況について

答 町内4か所に発着場所を設けており、ヘリの要請については救急救命士によって判断されます。昨年の運行は14件でした。

問 農業振興地域整備計画策定業務委託料について

答 将来にわたって優良な農地を確保していくための計画で、各種交付金や事業対象農地が計画に位置づけられています。作成から十数年経過しているため、土地の実情を精査し、計画の見直しを行います。

問 プレミアム商品券発行事業の効果について

答 平成25年から実施しており、町が補助金を交付し、商工会が販売しています。販売当初は売れ残っていました。最近では売り切れの状況であり、関心の高さがうかがえます。また、地域の活性化という面で非常に大きな役割を果たしていると思われます。

問 レクの森バンガロー等周辺草刈委託料について

答 草刈りは5月から8月にかけて4回実施していますが、今の所、草が伸びている等の苦情はありません。

意見書を提出しました

第3回定例会で意見書4件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。(内容省略)

●適正な地方財政計画の策定を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

●教職員の長時間労働是正を求める意見書

提出先 北海道知事、北海道教育委員会教育長、北海道議会議長

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、復興大臣、衆議院議長、参議院議長、

●全国森林環境税の創設に関する意見書

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

問 持家促進奨励金について

答 28年度に家を建てた世帯が7件で計350万円です。また、加算措置があり、子どもが2人いる世帯が2件で計100万円、子どもが1人いる世帯が3件で計90万円、家を建てて、1年以上老人と同居した世帯が5件で計150万円、合計で690万円です。

問 防災行政無線について

答 吹鳴装置が機能しているか確認するため、日曜日はサイレン、それ以外は音楽を鳴らしています。

討 論

決算審査特別委員会において、平成28年度一般会計の決算認定について反対・賛成の討論がありましたのでお知らせします。

反 対 討 論

山崎孝委員

私は、28年度の決算認定について、賛同することができません。

平成28年度一般会計決算については、監査委員の意見のとおり、決算係数等については誤りがなく適正に執行されたものと思われまます。

一般会計の歳入状況は、地方交付税が4,141万円の減少にもかかわらず49億8,590万円であり、前年対比歳入実績は12.4%の増であり、大きな実績であると評価をしたいと思っています。

しかし、収入未済額が2億6,945万円の発生であり、これは大変残念なことでありまます。その主な要因は、国営相和地区農地開発事業の負担金であり、しかも多額の滞納繰越金であります。平成28年度、償還金は326万3,000円であり、収納率は1.4%であります。私の感じでは、滞納者の方は償還の意思がないというふうには考えまます、将来の大きな課題とならないように、また、不納欠損につながるらないように、また、監査意見の中にも示されたとおり強制的な徴収、また、不動産物件の競売を視野に入れるべきであります。平成28年度一般会計の多額の収入未済額

の発生は、大変私は残念に思っています。その要因としましては、これに対する対策の遅れであります。ある意味では執行側の反省と責任があると考えまます。

そういうことで、平成28年度厚沢部町の一般会計決算の認定については、了とすることが私はできません。

賛 成 討 論

高田一弥委員

この認定に対する反対意見が出ましたが、ただいまの御意見に関しては定例会があるごとに協議会の中でこの報告がなされてまいりました。確かにおっしゃるように、なかなか実績が思うように上がっていないという状況ではありますけれども、その報告の中でも何とか完済を目指すように町としては努力をしておりますし、目立たないというだけのこと、これを不認定にすることについてはいかがなものかと考えまますし、私は決算認定に関して賛成したいと考えております。

平成28年度 厚沢部町各会計決算

会計名	区分	歳 入 (収 入)	歳 出 (支 出)	差 引 残 額
一 般 会 計		49億8590万3809円	46億565万1434円	3億8025万2375円
国民健康保険事業特別会計		7億363万6234円	6億6903万4314円	3460万1920円
後期高齢者医療特別会計		6206万8212円	6196万9691円	9万8521円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	6億2618万4428円	6億2071万5837円	546万8591円
	介護サービス勘定	121万7300円	121万7300円	0円
簡易水道事業特別会計		8226万6528円	7831万8517円	394万8011円
農業集落排水事業特別会計		2億7232万4609円	2億7143万8094円	88万6515円
国民健康保険事業特別会計	収 益 的 収 入 及 び 支 出	4億8151万2302円	4億8067万5712円	83万6590円
	資 本 的 収 入 及 び 支 出	2579万7927円	2579万7927円	0円

委員会活動

各常任委員会で行った第1回所管事務調査の内容をお知らせします。

○総務文教常任委員会

第1回調査日 7月12日

1) 今後の建設事業に係る起債計画と町の財政運営について

今後の建設事業に係る起債計画と町の財政運営について資料説明を受けた。

町の財政状況については、平成27年度一般会計決算で經常収支比率71.7パーセント、実質公債費率が3.9パーセントといずれも北海道内の10位以内の数値であり健全な財政運営がされている。

将来の建設事業については、認定こども園建設事業、簡易水道施設及び農業集落排水施設の更新事業等、町の大きな財政負担が続くところであるが、有利な補助事業、起債を活用して、継続し健全財政が維持できるよう努めるべきである。集会施設の建設等については、人口減少社会へ

の移行が進む中で、今後の利用状況に見合った整備を検討していく必要がある。

また、国では、地方が一般財源の総額が使い切れないほど過剰な状況にあると見なし、基金残高が多い自治体の交付税を削減するとの意見も出されている。本町の蓄えが今後の財政運営にマイナスに働くことのないよう国の方針や施策に常に関心を持って、注視していく必要がある。

2) 緑町宅地分譲地の現状と今後の課題について

緑町宅地分譲地の現状と今後の課題について資料説明を受け、現地調査を行った。

当初、24区画の分譲であったが平成27年度には、4区画に公営住宅が建設され、調査日現在では、14区画が売却され残りは6区画となっている。分譲開始から、既に約17年が経過しても残り区画があることを考えれば、今後は分譲価格を下げることの検討も必要である。

3) レクの森遊歩道の管理状況と現地確認について

レクの森遊歩道の管理状況

の資料説明を受けた。草刈業務は、1年間で民間業者への委託が1回、後は直営での管理となっている。レクの森は、国道227号から近い場所に位置し、気軽に自然の中を散歩できる環境で、年間入山者数は約1,000人にも上るとのことであった。このような状況を踏まえて、遊歩道の草刈業務は民間への委託予算を増額するか、直営での回数を増やし、入山者が快適に散歩できる環境整備に努めるべきである。

4) 町立公園の現状と今後の整備計画について

道の駅第2駐車場公園については、道の駅から少し離れた場所にあり、来訪者が気軽に足を運べるという状況ではなく、住民の利用頻度も少ないということであった。近年、休日や行楽シーズンには道の駅には大変多くの人が集まることを考えれば、将来的には周辺整備と併せて道の駅の一部として公園が整備されることが望まれる。ひまわりの丘公園については、遊具等の管理状況は良好であった。また、本町の中心地である

新町地区には子育て世帯も多いことから、子どもの遊び場確保のため、公園の設置を検討すべきと考える。

○産業厚生常任委員会

第1回調査日 7月19日

1) 町営牧場の管理状況について

町営牧場（美和育成牧場、当路肉牛牧場）の管理状況について資料説明を受け、現地調査を行った。

国の補助事業により公共牧場を設置したが、酪農家等の減少により、平成10年になると育成牛等の放牧がなくなり、両牧場とも休止状態となった。

美和育成牧場は、平成23年度から肉用繁殖牛・子牛（褐毛種）の育成のため町内畜産農家に貸付けたが、昭和60年から平成3年にかけて段階的に整備された水道設備の老朽化により飲用水の供給がでず、現在は放牧が困難な状況である。

当路肉牛牧場についても、畜産農家の減少により休止状態であった。荒廃を防ぐため、特例により馬の放牧場として

貸し付けていたが、現在では、4区画中、1区画が町内畜産農家へ牧草地として、また、隣接する1区画は、「厚沢部町馬事振興会」へ重種馬の放牧地として、それぞれ貸し付けられている。

両牧場とも「厚沢部町酪農・肉用牛生産近代化計画」により、自給飼料に立脚した酪農・畜産振興のための公共牧場として位置付けられており、当面は牧草地が荒廃しないような維持管理をしていく必要がある。

2) 荒廃農地（上里、稲見）の利活用について

荒廃農地（上里、稲見）の利活用について資料説明を受け、現地調査を行った。

当該農地については、国の補助事業で荒廃農地の発生防止や再生利用の取組みを実施している場所で、今回、現地確認を行った農地については有効活用されているが、積極的に補助事業等を活用し、さらに再生利用を促進すべきである。また、再生が困難な農地については、農業委員会と協議して非農地扱いとすることも検討すべきであろう。

3 道の駅の運営状況について

道の駅の運営状況については昨年度に引き続き調査実施であり、まず資料説明を受け、その後、現地調査を行った。

売上額・入場者数共に前年を超えて推移しており、今後さらに増えることが予想される。重点道の駅に指定されたこともあり、売上の主要商品である農産物の効果的な販売を目標とする管理体制や施設整備のほか、今後の周辺整備と合わせ駐車場等の整備も早急に行うべきだと考える。

10月6日 臨時会

第3回臨時会が10月6日招集され、補正予算案ほか2件を審議し、原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ370万2千円を追加し、総額40億378万9千円となりました。

一般会計補正予算の内訳（歳出のみ）

区 分	補 正 額	補正後の額
農 林 水 産 業 費	2,302千円	480,160千円
災 害 復 旧 費	1,400千円	1,405千円
合 計	3,702千円	4,003,789千円 (補正後の予算総額)

た。補正の内容は、小規模災害復旧事業費補助金等です。

承

認

●平成29年度厚沢部町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認（補正の内容は、台風18号に伴う災害応急対策費）

●平成29年度厚沢部町一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認（補正の内容は、衆議院解散に伴う選挙費）

主な議会のうごき

（8月臨時会後から10月臨時会まで）

月日	主 要 事 項
8	8 学校給食試食会（総合給食センター） 議員出席
	21 議会広報編集特別委員会（議員控室） 委員、事務局出席
	22 議会広報研修会（札幌市） 委員、事務局出席
	23 道南林活議連・みどり議連役員会出席（函館市） 議長出席
	25 ホームステイ交流体験報告会（山村開発センター集会室） 議長出席
	29 渡島・檜山町村議会議長会連絡会議（江差町役場） 議長出席
	30 総務文教常任委員会所管事務調査（議員控室外） 委員、議長、事務局出席
	31 議会運営委員会（議員控室） 委員、正副議長、事務局出席
9	1 北海道新幹線・渡島トンネル安全祈願祭 議員出席
	4 第3回町議会定例会招集（議場） 議員、事務局出席
10	3 道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会総会・研修会（函館市国際水産・海洋総合研究センター） 副議長、高田議員、只野議員、事務局出席
	6 議会運営委員会（議員控室） 委員、正副議長、事務局出席
	第3回町議会臨時会招集（議場） 議員、事務局出席

編集後記

中学校の統合まで半年を切り、開校記念に向けて着々と準備を進めている所です。

又一方では、各中学校での開校式に向けて実行委員会を立ち上げ、幾度も役員会を開催している昨今です。12月が厚中、1月は鶴中、2月が館中と、日程が決まり、皆様方も母校のOBとして式典・思い出を語る会に参加してはいかがでしょう。又当町の交通事故死ゼロの目標が9月14日で大台の4ケタ千日を達成しました。前の記録を見ると平成10年から14年迄1500日を超えたのが今迄の長い記録です。思い起こせば2014年12月19日から続いており、3地区の交通安全協会会長にも感謝状が贈られ、檜山管内では上ノ国町の3243日が最長で当町は4番目です。当町も上ノ国町とまで行かないまでも当面2千日を目指してスピードダウンと安全運転を心掛けていけたらと願う今日この頃です。（た）

議会広報編集特別委員会
委員長 松村 松雄
副委員長 只野 勲
委員 浜塚 久好
委員 下川部 洋伸